

ガルロナート特異的アルギン酸リラーゼ

Cat. No. EXWM-5086

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 酵素はβ-脱離反]によってアルギン酸の分解を触媒します。これは、α-L-グルロン酸とα-L-グ

ルロン酸または β -D-マンヌロン酸の間の $(1\rightarrow 4)$ 結合を切断し、非還元末端に4-デオキシ- α -L-エリスロ-ヘキス-4-エヌロン酸基を持ち、還元末端に α -L-グルロン酸を持つオリゴ糖を生成します。基質の組成に \square じて、酵素は2残基から6残基まで α オリゴ糖を生成し、短い生成物を好み

ます。参照: EC 4.2.2.3、マンヌロン酸特異的アルギン酸リラーゼ。

別名 アルギナーゼ II; グルロン酸リラーゼ; L-グルロン酸リラーゼ; L-グルロン酸リラーゼ; ポリ-α-

L-グルロン酸リラーゼ; ポリグルロン酸特異的アルギン酸リラーゼ; ポリ(α-L-1,4-グルロン酸) エクソリラーゼ; ポリ(α-L-グルロン酸)リラーゼ; ポリ[(1→4)-α-L-グルロン酸]エクソリラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.2.2.11

*CAS*登□番号 64177-88-4

反□ アルギン酸の除去的切断により、非還元末端に4-デオキシ-α-L-エリスロ-ヘキス-4-エンウロン

酸基を持ち、還元末端にα-L-グルロン酸を持つオリゴ糖が生成される。

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5[]9週間です。ご要望に[]じてカスタ

ム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間の保管は +4 $^{\circ}$ で行ってください。長期間の保管は -20 $^{\circ}$ $^{\circ}$ で行ってくださ

66